

りんご輸出チャレンジャー報告 (岩渕 聖)

<p>プロフィール</p>	<p>津軽平野の南方に位置する平川市で、りんご栽培をしている農家の3代目です。りんごを作り始めて約15年、まだまだ未熟ですが、年々納得のいくりんごを作れるようになってきました。「良い葉っぱが良い実を育てる」りんごは葉っぱが命です。樹に負担を掛けないよう、葉っぱの量にあった生産数量を考え、品質重視のりんご作りを心がけています。</p> 
<p>経営の特徴</p>	<p>サンふじ、王林、シナノゴールドなど日持ちのする晩生種のリんごを中心に栽培しています。性格的に自分の作ったりんごはすべて私自身が手にとって選果したいので、大規模経営とは行きませんが、りんご園の充実度に重きを置いています。</p>
<p>輸出取り組みの抱負</p>	<p>すべてゼロからのスタートです。海外消費者の嗜好を知り、流通を学び、一生産者でも可能な輸出の形を考えていきたいです。</p>
<p>現在の作業状況</p>	<p>サンふじの葉取り作業も終了し、りんごに万遍なく日光が当たるようにする回し作業をしています。作業の合間に、木々一本一本の葉色や樹勢、りんごの着色状態を見極め、冬どのように剪定すべきかを考えたりしています。</p>
<p>今年のリんごの作柄</p>	<p>台風による落果もなく、生育は順調です。平年より開花が早かったこともあり大玉傾向で、また、秋は比較的寒い日が多かったので着色も良好です。</p>  <p>写真：シナノゴールド</p>